

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	1	山形市役所 （六角・荒砥） 長井	山形 市役所前	六角 荒砥	道の駅 川のみな と 長井	【取組内容及び実施時期】 ①利便性向上のためのダイヤの見直し ②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 【実施主体】 山交バス㈱・長井市・白鷹町・南陽市・上山市・山形市 【効果目標】 増収率2%	【取組実績】 ①ダイヤ改正でダイヤの変更を実施した。（R6.4） ②路線別時刻表を作成し主要ターミナル・管内のコミュニティセンター・バス車内に置いてPR告知を図った。 ③収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 収入前年比 98.6% 目標未達成となった。 収支率は若干の改善となった。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	▲ 445,644	▲ 1,294,840	51.55%	51.90%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	2	山交ビル （荒谷） 天童	山交ビル バスターミ ナル	荒谷	天童駅前	【取組内容及び実施時期】 ①利便性向上および効率的な運行のためのダイヤの見直し ②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 【実施主体】 山交バス㈱・山形市・天童市 【効果目標】 増収率2%	【取組実績】 ①ダイヤ改正でダイヤの変更と一部便の減便を実施した。（R6.4） また、沿線住民の要望により経路上に新たなバス停を新設した。（R5.10） ②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。 ③天童市と運転免許返納者支援策を継続して実施した。 ④山形市の施策で省エネ家電購入者に交通系ICカードを配布した。 ⑤収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 収入前年比 97.5% 目標未達成となった。 収支率は悪化した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	▲ 862,318	846,618	52.53%	50.54%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	3	県立中央病 院 （表蔵王・四 ツ谷） 高松葉山	県立 中央病院	表蔵王口 四 谷	高松葉山 温泉	【取組内容及び実施時期】 ①利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 【実施主体】 山交バス(株)・山形市・上山市 【効果目標】 増収率2%	【取組実績】 ①路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。 ②上山市と運転免許返納者支援策を継続して実施した。 ③山形市の施策で省エネ家電購入者に交通系ICカードを配布した。 ④収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 収入前年比 65.0% 目標未達成となった。 収支率は改善した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	▲ 4,596,376	▲ 8,130,968	67.91%	76.19%

[記載要領]

1. この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
2. 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
3. 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
4. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
5. 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
6. 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	4	山形 （若葉町・南 山形） 高松葉山	千歳公園 待合所	若葉町 南山形	高松葉山 温泉	【取組内容及び実施時期】 ①利便性向上および効率的な運行のためのダイヤの見直し ②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 【実施主体】 山交バス㈱・山形市・上山市 【効果目標】 増収率2%	【取組実績】 ①ダイヤ改正でダイヤの変更と一部便の減便を実施した。（R6.4） ②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。 ③上山市と運転免許返納者支援策を継続して実施した。 ④山形市の施策で省エネ家電購入者に交通系ICカードを配布した。 ⑤収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 収入前年比 101.4% 目標未達成となった。 収支率は改善した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。 ・沿線の大型商業施設への乗り入れを検討する。	588,133	▲ 3,409,039	57.90%	61.48%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	5	寒河江駅前 （松川・左沢） 宮宿	寒河江 駅前	松川 左沢	朝日町 役場前	【取組内容及び実施時期】 ①利便性向上および効率的な運行のためのダイヤの見直し ②沿線沿いの学校に通う学生・住民のための施策を続け、利用拡大を図る。 ③沿線の市町村で乗り方教室を実施予定 ④朝日中学校付近で経路変更を実施予定 【実施主体】 山交バス(株)・寒河江市・大江町・朝日町 【効果目標】 増収率2%	【取組実績】 ①ダイヤ改正でダイヤの変更と土曜日便の全便減便を実施した。（R6.4） ②沿線市町村の施策で利用運賃の減免や運転免許証返納者への交通系ICカードの配布、通学定期券の購入補助を実施した。 ③山形県の主催で沿線の市町村で乗り方教室を実施した。（R5.10,11） ④朝日中学校の移設が予定されているため経路変更は実施していない。 ⑤収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 収入前年比 81.9% 目標未達成となった。 収支率は悪化した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	▲ 1,597,181	▲ 2,154,875	31.56%	28.01%

〔記載要領〕

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	6	寒河江駅前 ～ 谷地	寒河江 駅前		河北病院	【取組内容及び実施時期】 ①利便性向上および効率的な運行のためのダイヤの見直し ②沿線沿いの学校に通う学生・住民のための施策を続け、利用拡大を図る。 ③沿線の市町村で乗り方教室を実施予定 【実施主体】 山交バス(株)・寒河江市・河北町 【効果目標】 増収率2%	【取組実績】 ①ダイヤ改正でダイヤの変更と土曜日便の全便減便を実施した。（R6.4） ②沿線市町村の施策で運転免許証返納者への交通系ICカードの配布、通学定期券の購入補助を実施した。 ③山形県の主催で沿線の市町村で乗り方教室を実施した。（R5.10） ④収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 収入前年比 91.6% 目標未達成となった。 収支率は改善した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	▲ 846,230	▲ 3,267,419	35.07%	36.25%

【記載要領】

- 1. この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 2. 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 3. 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 4. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 5. 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 6. 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	7	山交ビル～ 寒河江駅前	山交ビル バスターミ ナル	中山	寒河江駅 前	【取組内容及び実施時期】 ①利便性向上および効率的な運行のためのダイヤの見直し ②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 【実施主体】 山交バス(株)・山形市・中山町・寒河江市 【効果目標】 増収率2%	【取組実績】 ①ダイヤ改正でダイヤの変更と一部便の減便を実施した。(R6.4) ②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。 ③山形県の主催で沿線の市町村で乗り方教室を実施した。(R5.10) ④山形市の施策で省エネ家電購入者に交通系ICカードを配布した。 ⑤収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 収入前年比 88.6% 目標未達成となった。 収支率は悪化した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	▲ 4,384,969	▲ 2,996,482	47.89%	44.05%

〔記載要領〕

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	8	天童～ 寒河江	天童南駅	天童駅前	寒河江 駅前	【取組内容及び実施時期】 ①運転免許証返納者への支援策として、回数券の選 択可能 【実施主体】 天童市・山交バス	【取組実績】 ①運転免許証返納者への支援策として、回数券の配 布を実施した。 ②メインユーザーである高校生ヘダイヤや運賃、IC カード導入に関するアンケート調査を実施した。 (R6.8) 【取組効果】 収入前年比 90.0% 目標未達成となった。 収支率は悪化した。	【今後の方向 性】 ・利用実態に 即した適切な ダイヤの設 定を引き続き 行う。	▲ 727,404	1,533,671	34.25%	28.72%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	9	天童 （東根市役所） 北町	天童駅前	東根 市役所前	北町	【取組内容及び実施時期】 ①利便性向上および効率的な運行のためのダイヤの見直し ②・村山産業高校に通う生徒の為、冬期間村山駅～北町まで増発運行を実施。また、当区間において学校、村山市より定期券補助あり。 ③沿線沿いの学校に通う学生・住民のための施策を続け、利用拡大を図る。 【実施主体】 山交バス㈱・天童市・東根市・村山市 【効果目標】 増収率2%	【取組実績】 ①ダイヤ改正でダイヤの変更と土曜日便の全便減便を実施した。（R6.4） ②村山市の施策で村山産業高生へ冬期間通学のための定期券購入補助を実施した。また、冬期間村山駅～北町まで別途系統を設定して増発便のような形で運行した。今年度は学校の要望に応じ運行期間を1ヶ月前倒しで運行し、利便増進に努めた。 ③沿線市町村の施策で運転免許証返納者への交通系ICカードの配布を実施した。 ④収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 収入前年比 79.9% 目標未達成となった。 収支率は悪化した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	▲ 2,232,595	▲ 4,153,421	40.56%	38.20%

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	10	山交ビル （県立中央病院・ 高橋）天童温泉	山交ビル バスターミ ナル	県立中央 病院・高橋	わくわく ランド	【取組内容及び実施時期】 ①運転免許センター・県立病院の特定ニーズのある 路線のため、維持する方向で調整。 ②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布すること により利用促進を図る。 【実施主体】 山交バス㈱・山形市・天童市 【効果目標】 運行回数 3.0回維持 輸送量 乗車密度5.0人×3.0回＝15.0人確保	【取組実績】 ①路線の再編へ向けて沿線自治体と協議を進めてい る。 免許センター及び病院を結ぶ貴重な路線の為、重点 的に見直しを行っている。 ②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高 等学校を中心に配布しPR等を実施した。 ③山形市の施策で省エネ家電購入者に交通系ICカー ドを配布した。 ④沿線市町村の施策で運転免許証返納者への交通 系ICカードの配布を実施した。 ⑤収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 運行回数 3.0回維持 目標達成となった。 輸送量 10.2人 未達成となった。 収支率は改善した。	【今後の方向 性】 ・路線再編へ 向けて沿線 自治体と引き 続き協議を 行う。	588,133	814,588	47.02%	48.63%

[記載要領]

1. この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
2. 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
3. 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
4. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
5. 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
6. 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	11	山交ビル （漆山） 天童温泉	山交ビル バスターミ ナル	漆山 長岡	わくわく ランド	【取組内容及び実施時期】 ①利便性向上および効率的な運行のためのダイヤの見直し ②利用者が見やすい時刻表を作成し、配布することにより利用促進を図る。 【実施主体】 山交バス㈱・山形市・天童市 【効果目標】 増収率2％	【取組実績】 ①ダイヤ改正でダイヤの変更と一部便の減便を実施した。（R6.4） ②路線別時刻表を作成し沿線の病院、スーパー、高等学校を中心に配布しPR等を実施した。 ③山形市の施策で省エネ家電購入者に交通系ICカードを配布した。 ④沿線市町村の施策で運転免許証返納者への交通系ICカードの配布を実施した。 ⑤収支改善のため運賃改定を実施した。 【取組効果】 収入前年比 89.8％ 目標未達成となった。 収支率は改善した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	▲ 4,293,016	▲ 13,064,940	48.68％	51.52％

〔記載要領〕

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社・宮城交通株式会社
------	-------------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	12	高速 上山～仙台	高松葉山 温泉		県庁 市役所前	【取組内容及び実施時期】 ①R5.12月に道の駅やまがた蔵王が新設されるため、利用者増を目指し経路変更を検討中。（R5.6） 【実施主体】 山交バス(株)・宮城交通(株) 【効果目標】 2社合算での増収。	【取組実績】 ①道の駅やまがた蔵王を経由するよう経路変更を実施した。利用拡大のためにホームページ・マスコミ等を利用して告知・PRを行った。（R5.12） ②東北芸術工科大学で回数券の販売を行った。 ③沿線のレジャー施設（リナワールド）との企画乗車券を販売した。 【取組効果】 収入前年比 109.5% 目標達成とみている。 収支率は改善した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	9,175,984	12,517,208	44.60%	46.17%

〔記載要領〕

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社・ジェイアールバス東北株式会社
------	-------------------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	13	高速 米沢～仙台	米沢 市役所前		仙台駅 東口	【取組内容及び実施時期】 ①利用促進のための施策を検討。 【実施主体】 山交バス(株)・ジェイアールバス東北(株) 【効果目標】 2社合算での増収率2%	【取組実績】 ①米沢市内を運行する路線バスおよび市営バスとの 乗り継ぎを考慮し、「上杉神社前」バス停を上杉城史 苑内に移設した。（R6.4） ②置賜広域観光案内センターおよび道の駅よねざわ 内のコンビニエンスストアで回数券の販売を実施した。 【取組効果】 収入前年比 109.5% 目標達成となった。 収支率は若干の改善となった。	【今後の方向 性】 ・利用実態に 即した適切な ダイヤの設 定を引き続き 行う。	9,551,556	16,910,683	56.31%	56.33%

[記載要領]

1. この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
2. 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
3. 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
4. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
5. 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
6. 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	14	特急 新庄 （東根・作並） 仙台	新庄駅前	東根 作並	仙台駅前	【取組内容及び実施時期】 ①利用者の利便性向上を図り、新庄駅西口より東口へ乗降場所を変更。 【実施主体】 山交バス㈱ 【効果目標】 増収率2.0%	【取組実績】 ①利用者の利便性向上を図り、新庄駅西口よりパーク&ライド可能な東口へ乗降場所を変更した。（R5.10） ②繁忙時期において利用ニーズに合わせた増発運行を実施した。 【取組効果】 収入前年比 105.5% 目標達成となった。 収支率は改善した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	8,750,772	4,942,879	74.85%	77.17%

〔記載要領〕

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	山交バス株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	15	県立病院～ 金山	県立 病院前	泉田	金山	【取組内容及び実施時期】 ①路線再編の検討 ②沿線沿いの学校に通う学生の利用促進。 【実施主体】 山交バス㈱・新庄市・金山町 【効果目標】 増収率2.0%	【取組実績】 ①R5.10月の県立病院移転に伴う路線再編を山形県主催で最上地域別分科会を定期的に開催して経路変更を実施。（R5.10） ②新庄市と通学定期券補助制度を継続して実施した。通学の利便増進に向けたダイヤ作成のため、沿線市町村や運行営業所と利用状況、利用属性、利用ニーズについての情報交換を行った。 ③収支改善のため運賃改定を実施した。 ④金山町が実施する高齢者運転免許証自主返納事業において、これまで町営バスとデマンドハイヤーにしか利用できなかった回数券を当路線でも利用できるよう変更した。 ⑤来年度新庄市内にオープンする道の駅への乗り入れについて新庄市と協議している。 【取組効果】 収入前年比 89.3% 目標未達成となった。 収支率は悪化した。	【今後の方向性】 ・利用実態に即した適切なダイヤの設定を引き続き行う。	▲ 2,088,403	5,273,203	49.10%	38.71%

〔記載要領〕

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	株式会社 新庄輸送サービス
------	---------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R6年度)

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県バス 対策協議会	16	県立病院 ～肘折線	県立 病院	清水	肘折 温泉 待合 所	【取組内容及び実施時期】 ①貨客混載：スーパー等と連携した買い物代行サービスについて検討。(平成30年3月まで) ②路線再編：新幹線到着時間に合わせたダイヤ改正(増便 6⇒7便へ) (平成30年3月まで) ③混乗化：本路線に対する村営スクールバスの接続改善(平成30年3月まで) ④観光利用促進：日帰り温泉パック等の商品開発(平成30年3月まで) ⑤バスロケーションシステムの導入。(利便性改善)(令和5年12月まで) 【実施主体】 株式会社 新庄輸送サービス (大蔵村)	【取組実績】 ①平成30年5月より実証実験実施したが商業ベースに至らず、 但し需要あり輸送支援で継続中。R6年度(24件/年、2件/月) ②平成29年4月より実施済み。 ③平成30年4月より実施済み。本幹線に接続する支線のダイヤを改正。 ④平成30年4月より肘折温泉-新庄間の往復券(8%引き)を作成し販売継続。R6年度(1,846枚、売上2,030千円) 【取組効果】 ②、③、④の取組継続、今年度はバスロケーションシステム(運行状況バス位置、時刻、バス停位置等確認可能とし利用の利便性を改善し輸送量増を見込む。	【今後の方向性】 地元利用者(通勤・通学等)への増進アピールと観光客の乗合需要の掘り起こしを行う。(電子マネー化も導入し利便性改善を図る)	52千円 (0.6%)	△2,054千円 (△4.6%)	18.40%	19.40%

[記載要領]

1. この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
2. 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
3. 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
4. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
5. 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
6. 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	有限会社 はながさバス
------	-------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R6年度)

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R3年度比 収入増減額	対R3年度比 費用増減額	R3年度 収支率	R5年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	17	銀山線	銀山温泉	尾花沢市役所	大石田駅	【取組内容及び実施時期】 ①ホームページを改良し、時刻検索、乗継検索ができるようにし、利用者利便の向上を図る。(令和6年3月まで) ②観光利用促進:主にインバウンド向けを目的としたPR活動で利用者増加を目指す。(令和6年3月まで) ③銀山温泉観光の記念及びPR用ポストカードの配布。(令和6年5月までに実施) 【実施主体】 ①旬はながさバス 【効果目標】 ①.②.③の取組により利用客増を見込む。③の取組により利用客の満足度を図る。 前年度利用客数52,371人の7%増 56,000人を見込む。	【取組実績】 ①令和6年4月に当社HP改良を実施した。 ②海外(タイ)へ行きPR活動として銀山温泉のパンフレットを配布した(令和5年11月) ③銀山温泉写真入りのポストカードを作成。令和6年5月よりバス利用客への配布。 【取組効果】 ①.②.③.の取組の結果、利用客数は48,511人に留まる。7,489人(1%)の減少となった。 貸切バスの利用客増加の傾向。	【今後の方向性】 貸切バスでの旅行客増加により、路線バスの利用客減少。PRを含めたポストカードは引き続きインバウンド向けとしても配布を続ける。			132.62%	100.88%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果・実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

「都道府県協議会等と協議の上」について、持ち回りや協議会の開催による等手段は問いませんが、生産性向上の取組は都道府県協議会のWG等の検討を経て、協議会において作成されたものであることから、本書類が事業者のみにより作成され、局に提出されるのではなく、都道府県協議会との協議を経て提出いただきますようお願いいたします。

事業者名	山交バス株式会社・庄内交通株式会社
------	-------------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	18	高速 山形 （月山口） 鶴岡	山交ビル バスターミ ナル	月山口	エスモー ルバスター ミナル	【取組内容及び実施時期】 ①利用実績および地域需要に見合った路線形態の検討 ②利用促進の実施による乗車率アップ ③利便性向上のため導入した『ICカード』（令和4年5月）の周知とIC決済の促進 【実施主体】 山交バス㈱・庄内交通㈱ 【効果目標】 増収率2.0%とする。	【取組実績】 ①『ICカードデータ可視化分析システム』の導入を進め。利用実態を調査できるようにし、ダイヤ変更等の検討ができるように取組はじめた。 ②主要観光拠点や地域住民の拠点ヘチラシ等の配布、TOHOKU MaaSへの参画により、事前購入等が容易となっている。 ③地域連携ICカード『shoko cherica』を導入により、Suica・PASMOも使用可能となり、わかりやすい運賃表示、支払いの簡素化により、利便性の向上に繋がっている。 ④道の駅にしかわ付近へ乗降場所を設定できないか関係各所と協議を行った。 【取組効果】 収入前年比 114.4% 目標達成となる。 収支率は改善した。	【今後の方向性】 ・バス利用者増を目指し周知活動を強化する。 ・交通系ICカード利用促進に努める。	6,449,558	4,700,770	57.28%	61.80%

〔記載要領〕

- この書類は、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。）の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画（地域間幹線系統確保維持計画を含む）に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	庄内交通株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R6年度）

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域 公共交通活 性化協議会	19	酒田(エス モール)山 形	酒田 駅前	エスモー ル	山形 駅前	【取組内容及び実施時期】 ①貨客混載（新聞輸送）や広告媒体収入による増収策の実施 ②利用実績および地域需要に見合った路線形態の検討 ③利用促進の実施による乗車率アップ ④利便性向上のため導入した『ICカード』（令和4年5月）の周知とIC決済の促進 【実施主体】 庄内交通株 【効果目標】 増収率2.0%増とする。	【取組実績】 ①『ICカードデータ可視化分析システム』の導入を進め。利用実態を調査できるようにし、ダイヤ変更等の検討ができるように取組はじめた。 ②主要観光拠点や地域住民の拠点ヘチラシ等の配布、TOHOKU MaaSへの参画により、事前購入等が容易となっている。 ③地域連携ICカード『shoko cherica』を導入により、Suica・PASMOも使用可能となり、わかりやすい運賃表示、支払いの簡素化により、利便性の向上に繋げている。 【取組効果】 収入前年比 101.8% 目標未達成となるが、費用圧縮により収支率は改善となる。	【今後の方向性】 ・バス利用者増を目指し周知活動を強化する。 ・交通系ICカード利用促進に努める。	2,000,562	4,416,768	86.66%	85.23%
山形県地域 公共交通活 性化協議会	20	鶴岡三川	エスモー ル	エスモー ル	イオン モール三 川	【取組内容及び実施時期】 ①利用実績および地域需要に見合った路線形態の検討協議 ②『つるおか1日乗り放題券』、高齢者定期券『ゴールドパス』の拡販 ③高齢者利用促進のため、イベント開催や地域訪問による告知活動 ④路線別時刻表の作成及び設置配布（令和4年3月） ⑤利便性向上のため『ICカード』の導入（令和4年5月） 【実施主体】 ①庄内交通株、鶴岡市、酒田市、三川町 ②庄内交通株、鶴岡市 ③庄内交通株、鶴岡市 ④庄内交通株 ⑤庄内交通株 【効果目標】 増収率1.0%増とする。	【取組実績】 ①各自治体と問題提起を実施し、令和3年10月1日路線再編を実施。利用実態を調査し、再変更や今後の路線の在り方を継続協議。 ②③主要観光拠点や地域住民の拠点ヘチラシ等の配布。広報への掲載。販促イベントや地域ごとに訪問などにより、告知活動及び乗り方教室を実施。 ④エスモールバスターミナルや酒田庄交バスターミナル、鶴岡駅前へ設置し、路線ごとの時刻や経路を案内。 ⑤地域連携ICカード『shoko cherica』を導入。わかりやすい運賃表示、支払いの簡素化により、利便性の向上 【取組効果】 収入前年比 80.3% 目標未達となる。	【今後の方向性】 バス利用者増を目指し周知活動を強化する。	▲ 2,472,434	▲ 4,296,456	39.07%	36.24%

協議会等名	申請 番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R5年度比 収入増減額	対R5年度比 費用増減額	R5年度 収支率	R6年度 収支率
						計画	取組実績					
山形県地域公共交通活性化協議会	21	三川酒田	イオンモール三川	日本海病院・イオン酒田南店	ゆたか1丁目	【取組内容及び実施時期】 ①利用実績および地域需要に見合った路線形態の検討協議 ②『つるおか1日乗り放題券』、高齢者定期券『ゴールドパス』の拡販 ③高齢者利用促進のため、イベント開催や地域訪問による告知活動 ④路線別時刻表の作成及び設置配布(令和4年3月) ⑤利便性向上のため『ICカード』の導入(令和4年5月) 【実施主体】 ①庄内交通㈱、鶴岡市、酒田市、三川町 ②庄内交通㈱、鶴岡市 ③庄内交通㈱、鶴岡市 ④庄内交通㈱ ⑤庄内交通㈱ 【効果目標】 増収率1.0%増とする。	【取組実績】 ①各自治体と問題提起を実施し、令和3年10月1日路線再編を実施。利用実態を調査し、再変更や今後の路線の在り方を継続協議。 ②③主要観光拠点や地域住民の拠点へチラシ等の配布。広報への掲載。販促イベントや地域ごとに訪問などにより、告知活動及び乗り方教室を実施。 ④エスモールバスターミナルや酒田庄交バスターミナル、鶴岡駅前へ設置し、路線ごとの時刻や経路を案内。 ⑤地域連携ICカード『shoko cherica』を導入。わかりやすい運賃表示、支払いの簡素化により、利便性の向上 【取組効果】 収入前年比 90.8% 目標未達となる。	【今後の方向性】 バス利用者増を目指し周知活動を強化する。	▲ 1,132,785	▲ 749,646	39.07%	36.35%
山形県地域公共交通活性化協議会	22	鶴岡(ゆぼかい)では文化記念館	エスモール	ゆぼか・荒川	いでは文化記念館前	【取組内容及び実施時期】 ①利用実績および地域需要に見合った路線形態の検討協議 ②『つるおか1日乗り放題券』、高齢者定期券『ゴールドパス』の拡販 ③高齢者利用促進のため、イベント開催や地域訪問による告知活動 ④路線別時刻表の作成及び設置配布(令和4年3月) ⑤利便性向上のため『ICカード』の導入(令和4年5月) 【実施主体】 ①庄内交通㈱、鶴岡市 ②庄内交通㈱、鶴岡市 ③庄内交通㈱、鶴岡市 ④庄内交通㈱ ⑤庄内交通㈱ 【効果目標】 増収率1.0%増とする。	【取組実績】 ①各自治体と問題提起を実施し、令和3年10月1日路線再編を実施。利用実態を調査し、再変更や今後の路線の在り方を継続協議。 ②③主要観光拠点や地域住民の拠点へチラシ等の配布。広報への掲載。販促イベントや地域ごとに訪問などにより、告知活動及び乗り方教室を実施。 ④エスモールバスターミナルや酒田庄交バスターミナル、鶴岡駅前へ設置し、路線ごとの時刻や経路を案内。 ⑤地域連携ICカード『shoko cherica』を導入。わかりやすい運賃表示、支払いの簡素化により、利便性の向上 【取組効果】 収入前年比 90.7% 目標未達となる。	【今後の方向性】 バス利用者増を目指し周知活動を強化する。	▲ 2,104,251	▲ 2,208,555	58.22%	55.99%

〔記載要領〕

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。